

令和元年度自己評価表

愛媛県立今治北高等学校

教育方針	国際的な視野に立ち、伝統文化を尊重しつつ、たくましく創造的に生きる力と、豊かな人間性を養う。	重点目標	1 規律ある生活習慣の確立を図り、人間尊重と奉仕的精神の育成をめざす。 2 学力の向上と体力・気力の充実を図る。 3 生徒理解に基づく進路指導の充実を図る。
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	家庭学習の充実	1日平均の家庭学習について1・2年生は3時間以上、3年生は4時間以上を確保させる。	C	6月と11月の2回の調査の平均は、1年高102分、普170分、2年高129分、普159分、3年高89分、普230分であった。2年生は昨年度より増加、1・3年生は昨年並みであった。目標にはどの学年も達成されていないが、達成圏内の学年・学科もある。	課題の量や与え方、部活動との両立、生活習慣の見直しなど、様々な観点で考えていく必要がある。
	学習習慣確立への支援	個別指導・サタディスクールによる学習習慣の確立への満足度90%以上を目指す。	C	個別指導の保護者の満足度79%、生徒の満足度85%。サタディスクールの保護者の満足度84%、生徒の満足度79%。	生徒が意欲的に取り組める指導の在り方を工夫する。
	教科指導の充実	学期に2回以上他の教員の授業を参観する。	C	相互授業参観に加え、各教科やホームルーム活動の研究授業に積極的に参加した。	学校行事他の予定を考えたが研究授業を実施したり、各種の校外の研修に参加するように促したりし、研修の機会を準備し教科指導の充実を図りたい。
	朝読書の充実	朝読書を10分間とし、全校生徒で読破1万冊を目指すとともに言語活動の充実を図る。	C	自主的な活動として朝読書ができていない生徒も多いが、宿題に追われている生徒や寒くなってから遅刻する生徒も増えている。読書冊数は3年生は1月31日現在で2,000冊くらいである。1、2年生は3月に調査実施予定である。	職員朝礼後に朝読書を始められるように時程の変更を検討中である。
生活指導	規律ある生活習慣の確立	「遅刻ゼロの日」（開講日で0のつく日を設定）の達成回数を年間12回以上とする。 一か年皆勤者率を60%以上とする。	C C	ちょうど12回の達成であったが、その他の日の遅刻者数が昨年より多い。 2学期末の時点で、1年生63.7%、2年生59.8%、3年生59.1%、学校全体60.9%であった。学校全体では目標は達成できた。	遅刻してくる生徒は、いわゆる不登校傾向の生徒であるので、焦らず指導していきたい。
	交通安全指導の充実	交通死亡事故などの重大事故0件、軽微な交通事故年間5件以内とする。	D	重大事故は0件であったが、軽微な事故が7件あった。	インフルエンザの流行が10月から続き、体調を崩す生徒も多かったが、蔓延することなく持ちこたえた。各学年ことでも90%を超えることができたようにしたい。
	健康管理指導の充実	生徒の健康や安全に関する指導への満足度85%以上を目指す。	B	学校評価アンケートの環境美化に関する項目において、89%の評価であった。	来年度も高い満足度が得られるよう、現在の体制を維持して指導を継続する。
	環境美化指導の充実	清掃活動などを通じた環境美化への評価85%以上を目指す。	C	学校評価アンケートの環境美化に関する項目において、82%の評価であった。	環境整備委員会を通して、生徒への働きかけを行い、意識の高揚を図りたい。
	教育相談の充実	生徒の悩みに対する適切な相談・助言への満足度90%以上を目指す。 援助が必要な生徒に対する適切な支援体制を充実させ、生徒・保護者の安心感100%を目指す。	C	満足度は、生徒80%、保護者78%であった。課題であったSLAが配置されたが、相談体制は十分ではなかった。支援体制は、生徒・保護者・教員・支援員で連携をとることができた。	多様な生徒が増えてきているので、SLA・担任・学年主任・教育相談員で連携を取り、適切な相談・指導をしていきたい。
	特別活動の充実	生徒会活動の活性化への満足度90%以上を目指す。 学校行事の創意工夫による生徒の満足度90%以上を目指す。	C C	満足度は、83%であったが、生徒たちの意見を尊重した生徒会活動が見られた。 満足度は93%であり、積極的な活動が見られ、生徒たちの充実した笑顔が見られた。	引き続き生徒の意見を吸い上げる開かれた生徒会を目指していきたい。 生徒たちが積極的に活動できるような学校行事を実施していきたい。
	部活動の活性化	ホームルーム活動の満足度90%以上を目指す。 全ての部活動を充実させる。 全国大会出場部数、10部以上 県総体出場者数、250名以上 高文祭出場者数、100名以上 部活動の満足度90%以上を目指す。	D B	満足度は、83%であったが、満足度は、83%であった。 部活動の満足度は91%であり、具体的目標も全て達成することができた。	生徒が興味関心を持っている内容を実施するよう担任の先生方に工夫・改善していただきたい。 目標を高めるとともに、数の目標だけでなく内容や結果も求めて、更なる高みを目指したい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
進路指導	進学指導の充実	国公立大学への合格者数を商業科15名以上、普通科100名以上を目指す。 難関10大学及び国公立大学医学部医学科10名以上の合格者数を目指す。	C	国公立大学合格者数は商業科12名、普通科77名の計89名。(3月16日現在) 難関大学については名古屋大と大阪大にそれぞれ1名ずつが出席している。	1、2年次から高い目標を持たせ、基本的な学習習慣を身に付けさせる。「北斗」の時間を利用し、3年間を見越した小論文指導や討論を行い、新入試に対応できるようにする。
	就職指導の充実	商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者を85%以上を目指す。 就職内定率100%を達成する。	B B	66名/79名中が該当し、84%である。ほぼ目標値を達成した。 目標通り内定率100%を達成できた。	本年度全9種目取得者が6名いた。次年度の目標にした。 できるだけ早く達成できるように進路相談を充実する。
	進路情報提供の適切度	生徒・保護者に対する適切な進路情報の提供及び保護者との連携への満足度90%以上を目指す。	C	情報提供は生徒の86%、保護者の79%が満足している。連携も保護者の75%が満足している。	時期に応じて保護者のニーズに合う資料を配付したり、進路について相談しやすい体制をつくる。
家庭・地域連携	家庭連絡の徹底	学校印刷物の家庭への配布100%を目指す。	C	保護者向け学校評価アンケートの回答を見る限りでは8割の生徒が保護者に渡しているようだ。	ホームページの連絡欄に配布物の情報を載せ、保護者・生徒ともに配布物に関する意識を喚起したい。
	P T A活動の充実	理事会・総会・研修会の活性化と参加率50%を目指す。	D	理事会同士が話し合わなければならない議題がある回は出席率が75%あるが、学校側の説明が中心の回は出席率が30%と低調であった。	学校運営に参加しているという気持ちを持っていただけるような会の雰囲気を目指していきたい。
	学校評価の充実	学校関係者評価委員会の活性化及び学校評価アンケートの各評価項目において生徒・保護者・教職員、いずれも90%を目指す。	C	学校関係者評価委員会を年3回開催し、忌憚のない意見を聞くことができ、提言に基づき改善ができた。学校評価アンケートも概ね目標を達成できている。	教科指導・生徒指導の方針を機会あるごとに発信しているが、きちんと保護者に届いていない面もあるため、保護者懇談会を利用して周知したい。
	学校ホームページの充実	毎日更新することにより、キャッチボール型学校運営を目指し、1日のアクセス数1,500以上を目指す。	C	4月から10月までは1日平均1,800件のアクセスがあったが、11月のホームページをリニューアル後からは1日平均860件と低調である。しかし、徐々に回復してきているので、年平均は1,450とほぼ目標を達成できていると感じる。	学校日記をほぼ毎日更新し、各種たよも毎月更新していることで、一定の評価を得ていると感じる。アクセスした際のトップ面の表示に戸惑う方もいると思われるので、クリックして次に進んでもらえるよう広報したい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。